

# 知道 CHIDO-KAIHO 会報

# 76

編集 知道会広報委員会  
〒310-0011水戸市三の丸3-10-1  
茨城県立水戸第一高等学校内  
発行人 角田芳夫  
発行日 平成22年5月20日  
通巻 第76号  
メール chidou@world.odn.ne.jp

目次	企画	座談会「新体制で臨む次の知道会」	1
	一高だより	知道会褒賞受賞者	4
	上海だより	上海万博直前リハーサル	5
	同窓会・支部だより	桜川市知道会 ほか	6

## 座談会 「新体制で臨む 次の知道会」

知道会は、130周年記念事業を成功に導いた西野会長から、昨年11月、角田会長へと引き継がれ、第59期から新体制が発足した。財政基盤の安定化や組織の見直しなどさまざまな課題が提起される中で、これからの10年をどう運営していくのか、学校長を交えて知道会のトップにそれぞれの思いを語ってもらった。  
(座談会：平成22年4月12日、知道会館にて)



左から早川校長、角田会長、川又副会長、栗原幹事長

座談会出席者

角田芳夫 会長 (昭28卒)  
川又 諭 副会長 (昭38卒)  
早川源一 校長 (昭46卒)  
栗原英則 幹事長 (昭48卒)

### 学校支援をより強固に

栗原(新幹事長) まずは新会長として、これからの抱負をお聞かせください。

角田(新会長) これまでは会費を納めるだけの会員だったので、知道会の現状を正確には把握していないのですが、会則にあるとおり、知道会という組織は「会員相互の親交」と「母校発展への寄与

が大きな仕事だと考えています。特に、母校を同じくする人たちの集まりからすると、やはり学校への支援をより一層強化していかなければと思います。

川又(副会長) 一昨年の130周年記念事業では、こういうご時世にもかかわらず3千8百万円を越える寄付が集まり、改めて水戸一高卒業生の母校への思いの高さを感じました。その資金で、知道会としてモニュメントの制作と綴帳などを寄贈したわけですが、学校側としてはもっといろいろな要望があったのではないかと思います。早川校長に率直なところをお

聞かせ願いたい。

早川(校長) 知道会の皆様には物心両面の絶大なご支援に心から感謝したいと思います。歩く会用にトランシーバーをいただき、安全に役立っていますし、また、キャリアインタビューとあって、社会で活躍している先輩の話を生徒が聞く時など、水戸一高の諸先輩が各界で活躍しており講師探しに苦労したことはありません。本当に知道会の協力がなければ学校の運営が成り立たない、といってもいいくらいです。

施設面で何が欲しいかといわれれば、グラウンドに照明があった

(次ページに続く)

会員の集い 平成22年11月6日(土) 水戸京成ホテルで開催

### 角田新会長プロフィール



かくたよしお  
角田芳夫

昭和8年4月8日生

- 昭和28年 水戸第一高等学校卒業
- 昭和34年 早稲田大学第一政治経済学部卒業
- 茨城県入庁（水戸支庁総務課）
- 昭和38年 自治省税務局固定資産税課
- 昭和44年 小笠原総合事務所総務課
- 昭和52年 山形県総務部税務課長
- 昭和56年 茨城県国際博協局企画課長
- 昭和60年 総務部知事公室長
- 平成2年 総務部長
- 平成3年 教育委員会教育長
- 平成6年 出納長
- 平成10年 副知事
- 平成21年 退任（12月31日）

（前ページより）

らしいと思っています。水戸一高の校是である「文武両道」にあこがれて入学してくる生徒が結構多く、6時限授業を行うと部活は朝早くするか夜遅くなってしまうんですね。生徒が部活を終えて帰る時など、とても暗いのでなんとかしてやりたいなと思っています。また、体育館も古くなってきましたが、生徒全員が収容でき、生徒の「心に火をつけるフォーラム」などをやれるような講堂を兼ね備えたものが欲しい。

川又 具体的な要望ですが、教育委員会に予算要求はしているのですか。

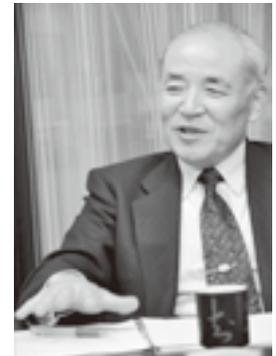
角田 本来は、行政で考えるべきことだが、教育委員会の予算も厳しい時代で、すぐに対応できる問題ではない。いずれにしても行政と同窓会組織との役割分担はきちんと整理しなければならないでしょう。知道会としてどうかかわるのか、例えば、体育館の耐震化は行政がやる、知道会としては講堂として使えるような音響設備で協力できる、そんな支援を続けていきたいと思っています。

川又 例年、知道会から学校に支

援している金額はどれくらいでしたか。

栗原 知道会の予算で、年会費の収入は約1100万円。そこから母校への助成金は120万円となっています。昨年は、物理オリンピックや生物学会への参加など、派遣費用の一部を支援しました。また、知道会以外でも、各部のOB達が後輩達の活躍を支援していこうという動きも出てきています。

角田 会費収入も伸び悩んでいると聞いていますが、厳しいやりくりの中で、学校への支



川又副会長

援、後輩達の活躍への支援はしっかりとやっていくことが大事だと思います。水戸一高卒業を誇りに思っている知道会会員の皆さんもその点では一致しているはずですから。

### 昭和54年卒

昭和54年卒の私たちは、今年11月6日に開催される知道の集いの講演の部を担当します。講師として、同年卒の宇都宮浄人君を予定しています。

皆さんは、最近、水戸の街を歩いたでしょうか。私たちが高校生として青春時代を過ごした水戸の街は、昔に比べると人通りが少なく、元気がなくなり、なんとなくさみしさを感じます。私たちが青春時代を過ごした街はこのまま寂れてしまうのでしょうか。

水戸が元気になるためにはいろいろな試みが必要です。とくに人を中心街へ呼び戻す工夫が必要です。その方法として、LRT(Light Rail Transit)があります。これは従来の路面電車に比べ乗降の容易性、定時性、速達性、快適性、輸送力などの面で優れた特徴を有する次世代型の交通システムのことです。今回は、交通の観点から私たちが青春時代を過ごした水戸の街の再生を考えてみたいと思います。

集い終了後には、昭和54年卒の同窓会も企画しようと検討しています。ご参集ください。

（後藤直樹）

第60期つどい

私たちが担当します

今年11月6日、水戸京成ホテルで開催される「会員の集い」の幹事担当学年を紹介します。

## 事業の活性化が組織・財政の安定化につながる

栗原 会費収入のお話が出ましたが、学校への支援等を確実にやっていくには、現在約4600人の会



早川校長

費納入者を6000人くらいに増やしていく必要があります。それには知道会の各事業を積極的にPR

し、学年同窓会はもちろん職域・地域知道会との連携を図って参加者を拡大していかなければなりません。この点でご意見をいただきたいと思います。

川又 知道会の予算の支出のうち、会報の印刷や発送の経費が大きいようですが、メールなどにするとか考えてもいいのでは。

栗原 会費の納入者の割合は高齢者が高いので、すべて電子化というのはすぐには難しいでしょうが、中長期的にはインターネット配信も考えていかなければと考

えています。

角田 私たちの頃は女子生徒はわずかだったが、今は半分近くが女子生徒になっている。知道会の会員もかなりの数になっているはずですが、「集い」などに参加してもどうも女性の姿が少ないように思われます。女性が参加できる事業をもっと考える必要がある。

川又 以前女性会の話が検討されたことがあるが、やはり女性の目は厳しい。男性以上に参加事業に意義を求める。幸い、知道会役員の中に女性委員が徐々に増えているので、女性の視点で事業の中身を検討していったらどうでしょうか。また、現役世代と退職後とは同窓会に対する意識が違ってくる。知道会の人的ネットワークを生かして、現役世代には仕事に役立つ事業企画を、そしてリタイア組や女性会員向けには趣味やボランティアなどにつながるような事業を組む。そういう多彩な事業を企画して活性化させていく必要があるでしょう。

早川 生徒達も先輩の方々との交流を求めています。現在卒論指導のようなものをやり始めていると

ころですが、各界各層で活躍する超一流の先輩達の話の直に聞かせたいと思います。例えば妹島さんのような世界的な女性建築家の話など。生徒達に将来何をやりたいかをはっきりさせてゆくステップに必ずなるし、それが出来るのは水戸一高、知道会だけだと思います。



栗原幹事長

角田 話は尽きないのですが、やはり同窓会組織というのは母校あつての組織。現役生徒達の活躍を誇りに思い、先輩達の活躍にあこがれる、そういう光輝く関係をいつまでも続けられるような知道会づくりに取り組んでいきたい。そのために多くの会員の方たちの意見を寄せていただきたいと思

### 平成元年卒

「来たれ平成卒！」

元号が昭和から平成に変わり、天安門事件が起き、ベルリンの壁が崩壊した激動の年に水戸一を巣立った我々もとうとう四十路を迎えます。「そういや同級生にもしばらく会ってないなあ...」という皆さんも、同級生たちの変貌ぶりを確かめに水戸に集まってみませんか？

卒業から20年、社会の荒波の中で多くの先輩方と出会い、非常に多くの恩恵を受けてまいりました。不惑の境地にはまだまだ程遠い我々ですが、そろそろ恩返しを考える年代になったのではないのでしょうか。今回、「知道会会員の集い」の幹事学年を仰せつかったことを機に、平成卒業世代の先頭に立って知道会を盛り上げていきましょう。

そこで迷っている貴方、決して後悔はさせません。会場でお会いしましょう。

(佐藤晃教、大谷基道)

### 平成11年卒

同窓生の高校時代

今年3月21日(日)、東京にて平成11年卒業生の同窓会が約70人程度が参加し盛大に行われた。

さて、一高は2008年に130周年を迎えたのだが、私が高校3年だった1998年には120周年記念式典が行われた。あれからもう10年たったのかと感慨深い気持ちでいたが、これまでに一高を卒業された大勢の先輩方から見れば、まだたった10年と思うことだろう。在籍した3年間はちょうど校舎を改築していた時期であり、2年までは伝統ある旧校舎で、3年の時は新校舎で授業を受けることができた。そのため私たちは両方の校舎で学ぶことができた貴重な学年だと思っている。

ちなみに、科目によっては、仮設のプレハブ校舎でも授業を受けたのが懐かしい。伝統ある校舎がなくなってしまうのは寂しいが、新校舎での一高がさらに進化していくことを期待する。

(星野博史)

## EVENTS

平成21年

10月

- 11日 にさし会
- 20日 27卒同窓会
- 21日 58期決算監査

11月

- 6日 26卒同窓会
- 8日 32卒同窓会
- 11日 集い実行委員会 (最終)
- 14日 代議員会・会員の集い
- 28日 関西水一中高会
- 29日 瓜連知照会
- 31日 新旧役員懇親会

12月

- 6日 みつば知照会忘年会

1月

- 2日 39卒同窓会

2月

- 6日 水戸知照会総会
- 11日 みつば知照会新春を祝う会
- 27日 東京知照会

3月

- 4日 34卒 (さんし会) 同窓会
- 19日 編集委員会 (広報委員会)
- 20日 茨城町知照会
- 28日 下市知照会

## 知照会褒賞受賞者54名

3年間の学校生活の中で文武両道に励み、部活動等で県の代表として県外大会等に出場し、本校の名声を高めた生徒に対する知照会褒賞授与式が平成22年3月1日、卒業式当日に行われた。角田知照会会長から一人ひとり褒賞と記念品が手渡された。阿部田将史君、藪登君、戸祭森彦君、大内穂高君は2部門を兼ねる受賞であった。

所属部別の受賞者は次の通り。

- 【弓道部】大源菜都美、熊木沙織
- 【山岳部】小林圭佑、吉田隆博、戸祭森彦、三村健人、千葉崇
- 【水泳部】清水一利、前道一貴、川崎李穂
- 【卓球部】相羽大樹、水上諒、早川元貴
- 【ラグビー部】内山雄貴、古賀和孝、海老澤孝輔、大野誠貴
- 【陸上部】田崎美和、和田山育未、丸茂直樹、谷田部遼、飛田千尋、伊藤光沙、鈴木希美、皆川麻美、井口亜希子、角田侑以、大内穂高
- 【吹奏楽部】徳田恭子、八幡明夢、菅井香穂里、井坂純子、木下友紀子、陶泰行、西野未来、坪若菜、荒井風香、井坂妙子、神長賢人、入野寿洋、角張ちひろ、後藤直子、和知亜紀子
- 【写真部】富永菜那
- 【生物同好会部】鈴木一将、川又一平、戸祭森彦、遠藤雅貴、田子大幹、藪登
- 【化学部】阿部田将史、藪登、松下聖、

柳橋卓也、坂本鎌治

【物理科】阿部田将史、東川翔

【図書委員会】大内穂高

## 平成22年度定期人事異動

次の方々が異動された。( )内は教科等と本校在職年数。

### 1 退職

- 鈴木悦男 (国語、13年)
- 石橋英喜 (英語、18年)
- 会沢 力 (数学、1年)
- 佐々木悦子 (実習助手、2年)
- 小峰知子 (図書、2年)

### 2 転出

- 川又輝美 (教頭、3年) 鹿島灘高校長へ
- 佐藤卓哉 (国語、14年) 日立北高へ
- 田村 浩 (地歴、10年) 日立北高へ
- 豊崎永英 (理科、11年) 茨城東高へ
- 澤田順子 (理科、10年) 日立二高へ
- 吉岡 浩 (英語、10年) 勝田高へ
- 三次 綾 (実習助手、5年) 石岡高へ
- 佐伯浩司 (事務、5年) 水戸高等養護学校へ

### 3 転入

- 木戸明良 (教頭) 竹園高から
- 西谷 晃 (国語) 太田二高里美校から
- 岩上朝壽 (国語) 臨時
- 大信 隆 (地歴) 土浦湖北高から
- 高野信也 (理科) 中央高から
- 山崎智美 (理科) 高萩清松高から
- 鈴木隆一 (英語) 勝田高から
- 古川 正 (英語) 江戸崎総合高から
- 落合浩気 (家庭) 臨時
- 大塚瑞恵 (実習講師) 那珂湊一高から
- 鯉淵健次 (事務) 小瀬高から

## 新刊紹介

もう一つの『坂の上の雲』  
…鯉淵萬吉 大先輩を  
知っていますか?…

小田倉康家 (昭45卒)



「人間  
鯉淵萬吉」  
永岡和子著  
(萬吉の孫)

『坂の上の雲』は、明治の近代国家形成期に気概を持って、己の専門を通して参画した青年を描いた司馬

遼太郎の小説である。水戸一高の前身である水戸中学にも同様な人物がいたと思われる。平成20年12月に永岡悦子さん (和子さんの義理の娘) という方が、鯉淵萬吉の水戸中学在学中の状況を教えてほしいと、水戸一高を訪ねてきた。教頭であった私が応対したが、わずかに学籍簿の明治38年3月卒業生の欄に、彼の名前を見つけられただけであった。萬吉は水戸中学卒業後、青雲の志 (「英語を学んで貿易商になる」という夢) を抱いて渡米する。

現地の高校・大学で学び、研究に励むが、夢を途中で断念し帰国する。帰国後は、主に横浜で神奈川県通訳として活躍した。永岡さん親子は萬吉の足跡を確かめるべく渡米し、その調査結果と親戚縁者からの聞き取りをもとに、和子さんが家族の視点から萬吉の生涯を『人間 鯉淵萬吉』に綴った。この本を2冊、水戸一高図書室と知照会事務局に寄贈して頂いた。

これを読むと、青雲の志を抱いて、明治時代に水戸中学から巣立った若者が幾

多の困難を乗り越え、国家社会のために貢献したことがわかる。後輩の現役生徒にも、もう一つの『坂の上の雲』の物語に触れ、大志を抱き、勉学に精進して頂ければ明治の大先輩も本望ではないかと思われる。



鯉淵萬吉

## 入試結果と進路状況

平成22年度の大学入試において、平成22年3月の卒業生のうち、国公立大学に119名、私立大学に延べ305名が合格し、現役生の実合格率は64.9%であった。また、実際に進学した生徒は181名で実進学率は55.7%であった。

主な大学の合格者数。( )内は現役合格者数、前年との増減は△▼で示した。

### ●国立大学

北海道大	7 ( 4 ) ▼ 2
東北大	21 ( 12 ) ▼ 7
茨城大	11 ( 9 ) △ 2
筑波大	27 ( 19 ) △ 11
千葉大	15 ( 10 ) △ 3
お茶の水女子大	7 ( 6 ) △ 6
東京大	6 ( 2 ) ▼ 9
東京外語大	4 ( 4 ) ▼ 3
東京工業大	9 ( 7 ) △ 3
一橋大	2 ( 2 ) 0
京都大	8 ( 6 ) △ 5
大阪大	3 ( 2 ) ▼ 1

### ●私立大学

青山学院大	25 ( 12 ) △ 4
慶應義塾大	39 ( 16 ) ▼ 19
上智大	12 ( 8 ) △ 3
中央大	59 ( 24 ) △ 3
東京理科大	83 ( 23 ) △ 21
法政大	32 ( 15 ) △ 6
明治大	86 ( 41 ) ▼ 18
立教大	58 ( 31 ) △ 15
早稲田大	89 ( 38 ) ▼ 26

## 上海だより

③

### 上海万博直前リハーサル

茨城県上海事務所

川又敏郎 (昭49卒)

上海万博がいよいよ開幕を迎えました。5月1日から半年間、都市のど真ん中で開かれるこれまでで最大規模の万博です。茨城県上海事務所では4月23日(金)に上海万博リハーサルを見せていただく機会を得ましたので簡単にご紹介します。

上海市は4月中旬から万博対応の交通規制が始まり、周辺都市から上海市に車で入る場合は通行証(ステッカー)が必要となりました。万博会場周辺にまで入る場合は、さらに管理規制区域に入る通行証が必要です。したがって、万博会場の直近には万博専用バス、万博専用タクシー、地下鉄のどれかでアクセスすることになります。

当日、私たちは専用ホットラインで万博専用タクシーを呼び、浦東地区の西側ゲートに向かいました。ゲートでは空港のようなセキュリティチェックを受けて入場しました。

パビリオンでまず見たかったのは中国館でした。ところが開場後1時間くらいで予約券が配りきりになったとのこと。しかたがないので高架歩道を歩いてテーマ館に行き、15分並んで入場しました。中は鉄道の歴史や地下にある都市のライフライ



ン模型展示と映像でした。

大きなテーマ館でしたが、すぐに出口に誘導されてしまったため確認してみると、テーマごとにいくつかのエリアに分かれていて入口も別でした。

そこからは中国館が間近に見えます。中国館は中国国家館と中国各地区の展示館からできています。中国国家館は見られませんでした。地区の展示館には予約なしで入れましたので北京、チベット、青海、重慶、雲南、河南、山東等の展示館を見ることができました。そこで働く人たちは明らかに各民族の特徴ある顔立ちをしており、改めて中国の懐の深さを感じました。

日本館の初公開は午後15時からとのことだったので、14時過ぎに行ってみました。近づくにつれ長い列。2時間以上並びました。日本の文化や技術力の紹介、日中友好の象徴・トキを扱った映像など見ごたえがあります。

同行した中国人スタッフの話によれば、すれ違う中国人たちが「日本館が一番よかったね」と話していたそうです。内容やテーマが評価されているようで日本人としてうれしくなりました。(知道会広報委員)

## ＝参加者募集＝ 親睦委員会より

### ●第31回知道会ゴルフ大会

平成22年6月3日(木)、大洗ゴルフ倶楽部で盛大に行います。各学年、地域知道会、職域知道会の仲間と声を掛け合って、大勢の仲間が集うことを期待しています。ご不明な点は、知道会事務局までお問合せ下さい。

### ●第7回OBミニ歩く会

平成22年9月12日(日)、今回は土浦水一中一高会のご支援を頂

き、土浦の町とその周辺を探索する計画です。

昨年は、桜川知道会の皆様にお世話になり参加者80名と盛大な歩く会でした。今回はそれを上回る参加者を予定していますので、お誘い合わせの上ご参加下さい。勿論、ご家族お揃いでのご参加も歓迎です。

申込先 知道会事務局(月・水・金)  
TEL029-226-3960  
FAX029-226-4157



昨年のOB歩く会

## 桜川市知道会

桜川市知道会は発足4年を迎え（岩瀬知道会から通算して11年目）、昨年11月14日（土）に総会と懇親会を開催した。今回は若い人たちが大勢参加してくださり、いつになく盛り上がったことは大変な喜びであった。

総会、懇親会は年に一度の大きな行事であるが、そのほかにゴルフコンペや会員である亀山和右（昭27卒）に民話の語りを演じていただいたり、また会員のお骨折りで、「青少年と後輩達にぜひ伝えたいこと」として「桜川市知道会文集」を作成するなど、会員相互の親睦が深められるよう色々と試みてきました。

今年は知道会報75号（平成21年10月1日発行）に掲載されているように、9月13日に桜川市真壁地区でOBによるミニ歩く会が実施されました。桜川市知道会会員も含めて80余名の参加を得、数多く残る史跡や歴史的にも貴重な建造物などについてボランティアの方々の案内で解説を聞きながら約3時間のコースを無事元気に歩いていただきました。

昨年の総会時に本部から親睦委員会の方がおいでになり、OB歩く会のお話を伺ってから何回か会合を持ち、コースの設定、各種の交渉、会員医師への協力依頼等々、特に真壁地区の会員からは献身的な働きをいただいて当日を迎えました。天候にも恵まれ、参加された方々には十分満足してお帰りいただけたものと自負しているところです。

来年は土浦を会場に実施されるとのこと。わが桜川市知道会もぜひ参加させていただきたいと考えています。これを契機に希望者を募ってハイキングをしようじゃないか、いや一泊の旅行もいいな、などの意見があり、また来年からは新しい行事が加わりそうです。

（昭27卒 島田俊彦）

## 東京二七会第54回総会開催

平成21年10月20日、JR飯田橋駅

近くのホテル・メトロポリタンエンドモントで第54回東京二七会総会がされた。毎回参加する水戸二七会の有志に加えて、「知道会本部から田中副会長、前年に引き続き東京知道会から小岩井会長、そして郷土の更なる発展に情熱を注ぐ30年卒の稲葉君（毎回出席）等の参加を得て、出席者は総勢50名に及び、会は盛況を極めた。

当会は昭和27年卒の東京及び首都圏在住者約130名で構成され、発足来、毎年欠かすことなく同窓会を開催し、昨年で54回目を数える。

会の運営は、常任幹事のほかに嘗ての母校への通学コースエリアを、水戸上市・下市・勝田・水郡線・常磐線上り・及び水戸線・湊線・茨鉄のグループに大別して、各グループが毎年交替で幹事を担当することになっている。（昨年は湊線が担当）

我々会員の大部分は、太平洋戦争が終わった翌年の昭和21年に旧制水戸中学校へ最後に入学した仲間たちである。

入学翌年の昭和22年、所謂『六三制』義務教育の施行に伴って、我々に続く後輩生の入学は無くなり、昭和23年水戸中学校はその歴史に幕を降ろす。そして新制水戸第一高等学校の誕生となるが、その年、我々は旧中での最下級生のまま、併設中学生として留まり、24年に高校に編入された。筆舌に尽くせぬ戦後の混乱と劣悪な環境の下で、水中・一高を通じての6年間、特異な学生体験を強いられたのである。

このような経緯から、我々仲間には必然的に厚い友情と固い結束力が育まれ、これが長年に亘り、欠かすことの無い同窓会の開催に繋がっているのである。

今年、会員は喜寿を迎える。そして東京二七会も発足55回目となる。我々はいつのまにか『後期なにかし』の枠組みに嵌め込まれているが、種々の憤懣は棚上げして、今年もまた矍鑠とした仲間たちと旨酒を酌み交わすことをお互いに心待ちにしている次第である。

（湊線幹事 宮内孝美）

## さんし (34) 会

（水戸一高昭和34年3月卒業生同窓会）

母校を卒業して年齢も40歳になり「惑わず」の年に、知道会館で初めての同窓会を開催して30年になりました。毎年欠かさず開催しており、東京と水戸を交互に開催したり、年に2回の時もありましたが、近年は水戸市内のホテルで3月4日（34会）に開催と決めております。秋には在京34会（代表幹事 広瀬千秋君）が行われております。昨年は卒業50周年記念の文集を作成し配布しました。

本年は会員も古希を迎えるので、初めて一泊の同窓会を企画しました。41名の参加で袋田温泉思い出浪漫館で盛会に出来ました。水戸駅から参加希望者24名は貸切バスを利用し同窓生の但野正弘君の名ガイドで、常陸太田の西山荘や佐竹寺等古跡を巡りホテルに入りました。翌日は水戸グリーンカントリークラブにて16名の参加でゴルフコンペを開催し、思い出多い古希の同窓会で旧交を温めることが出来ました。

（代表幹事 湊 正雄）



さんし会 古希の祝

## 水戸一高野球部史発行へ

創部以来120年に近い伝統を誇る水戸一高野球部が、11月1日発行を目指し、懸案だった部史の編集作業を本格化した。

2月末に第1部「通史・戦前編」、6月末に「通史・戦後編」と第2部「わが青春の水中・一高野球」を提稿、8月末には記録ページなどを含むすべての編集作業を終え、10月に印刷・製本という予定だ。

## 西日本水中一高会

平成21年11月28日、大阪第一ホ

テルで西日本水中一高会の総会を開催しました。遠路、水戸一高校長早川源一様、知道会事務局長北條勝彦様を迎えて平成20年度の議題に入りました。

星野会長の挨拶に続き、平成20年度収支決算報告書、新役員選出が承認されました。

新役員は会長加藤武雄(昭33卒)、副会長黒田京子(昭31卒)、同中島美絵子(昭32卒)、同井内義興(昭33卒)の各氏。幹事は全員留任。顧問として新たに相馬一男(昭23卒)、星野 皓(昭26卒)、平山寿一(昭31卒)の各氏が就任いたしました。

続いて早川校長より母校の生徒たちの活動状況報告、北條事務局長より知道会の現況報告がありました。さらに、弁護士迎純嗣氏(46卒)より私達にとって身近な法律講演があり、大変参考になりました。

その後懇親会に移り楽しいひと時を過ごし、名残尽きない思いを残しながら来年の再会を約束して散会となりました。(副会長 井内義興)

## 就任ご挨拶

加藤 武雄  
(昭33卒)

今年、星野先輩より歴史ある西日本水中一高会の会長を譲られ就任する事になりました。大変な重責であり、小生にとって少々重荷ではないかと考えております。

当会には水戸中学時代からの偉大なる先輩達と、平成卒の若い後輩達と合わせて約100名の方々が入会されております。

しかしながら、現実には毎年の総会に出席される方は約30名と少々淋しい状態であります。同窓会のあり方が見直されているのかもしれませんが。ただ単に同じ学窓で学んだという事だけでは、会の活性化は難しい時代になったのでしょうか。

価値観が大きく変化し、同窓会に対する見方も年配の方々と若い人達

との間でそのギャップは大きくなったと考えています。

若い人達が積極的に参加してくれるには何をしたらいいのか考え、そして一つずつ実行出来るといいなと思っております。

幸いにもこの西日本水中一高会には、遠く故郷を離れながらも大きく飛躍している方々が大勢いらっしゃいます。そういう方々の体験談を通して、若い会員が夢を見るような事が出来ればと考えております。

いずれにしても知道会本部には倍に増してのご支援ご鞭撻を願ひし、ご挨拶とさせていただきます。

## 45年卒同窓会

「私たちは昭和45年卒であり、今回当時の1年、2年持ち上がりクラスの面々と数十年ぶりになかよし会(私たちの呼称)を3月21日に水戸にて開催いたしました。

お蔭様で好天にも恵まれ、最初に水戸開藩400年記念映画「桜田門外ノ変」オープンセットを見学に千波湖畔に向かいました。その後観梅デーの偕楽園に寄り満開に咲き誇る園内にて旧友たちと懐かしさを満喫しました。

その後懇親会場に場所を移して総勢15名にて饗宴の幕開けとなりました。最初に記念撮影を行ったあと、去年ご病気にて他界された我が同胞山方君のご冥福を祈り全員で黙祷を捧げました。

皆当時の一高魂を蘇らせ白髪も混じった中、夢と希望に溢れた学生生活を走馬灯の如く懐かしみ、最後に小野瀬君のエールのもと校歌、応援歌を声枯れるまで歌い上げ感動の2時間を楽しみました。終宴後は安堵感とともに再会を誓い閉会となりました。(倉林博孝)



45年卒同窓会

## 水戸下市知道会

3月28日(日)平成21年度総会が水戸市浜田 割烹魚兼において開催されました。開催に先立ち「桜田門外の変」ロケセットを有志で見学いたしました。

総会は湊 正雄会長(昭和34卒)の挨拶、議事進行で行われ新年度役員が改選され承認されました。

会長 早川富二雄(昭39卒)(新任)  
副会長 板橋義則(昭40卒)(留任)  
〃 和知忠伸(昭44卒)(新任)  
〃(会計)大内常男(昭43卒)(留任)  
相談役 湊 正雄(昭34卒)(前会長)  
顧問 木村成文(昭31卒)(前会長)  
幹事 全員留任

議事終了後講演会が行われ「映画桜田門外の変」と地域づくりと言うテーマで映画制作協力会事務局長三上靖彦氏(昭52卒)の講演がありました。

懇親会には来賓の知道会栗原英則幹事長の乾杯で盛会に行われました。ご来賓には瀬谷五軒知道会長、堀江みつば知道会役員、国会議員の藤田幸久氏(昭44卒)、福島伸享(昭45卒)がお出でになりました。参加25名でした。

## 地球環境問題講演会開催のご案内

この講演会は「茨城県退職高等学校長会」が主催して開催されますが、一般の方々の参加が可能ですので、知道会会員に特にご案内します。

演題：地球の未来を考える＝温暖化とどう向き合うか＝

講師：東京大学名誉教授

山本良一氏

(水戸一高40年卒)

1974年、東京大学工学系研究科大学院博士課程修了。専門は材料化学。

近年は、専門領域を大きく越えて、地球環境問題に取り組んでいる。その活動は海外でも高く評価されている。

申し込みは、5月30日までにFAX(029-253-4374)で、金澤正巳氏(昭40卒)宛へ。定員になり次第締め切り。

総務委員会

今年の「会員の集い」幹事はS54、H元年、H11年卒が担当します。

昨年の「会員の集い」で先輩から「はっぴ」を、そして角田会長から「軍配」を引継ぎました。抱負でも述べたように、今年は昨年以上の会員が集う会にしたと総務委員会と一緒に企画を立案しています。「会員の集い」実行委員会の立ち上げ準備も4月には終了し、6月に第1回の会合が予定されています。



「会員の集い」は11月6日（土）の午後に開催しますので、ぜひこの日は今から知道会「会員の集い」参加の為に空けておいて下さい。300名以上の参加を予定しておりますので、よろしくお願い致します。

総務委員会の今年の活動は、下記を予定しています。

- ① 平成22年度「代議員会」及び「会員の集い」に向けての実行委員会
- ② 知道会則の検討  
終身会費の規定を会則に盛り込むなど知道会の現状に即した会則になっているかどうか検討する。
- ③ その他  
母校に対する支援が円滑に出来るような体制作りを図る。  
会員間のネットワークづくりに対し援助できる体制を研究する。

以上の活動・課題を達成するために総務委員会では会員からのアイデアを募集します。6月から毎月第3金曜日に、「集い」の実行委員会と総務委員会を定例開催しますので、ご意見・アイデアのある方はぜひご参加下

さい。会員に開かれた総務委員会を目指し、委員一同ががんばりたいと考えています。（総務委員長 粉川 勝）

財務委員会

「年会費納入をお願いします」

西山氏（昭41卒）を新委員長とする執行体制の下、本年度の財務委員会を栗原幹事長、北條事務局長にも参加していただき委員会を開きました。

何といたっても議題の中心は「会費納入者数の増加策」です。と言うのもここ数年は減少傾向にあり、今年度中間期（22年3月末）を見ても納入者数は前年度並みにとどまっていることから、このまま推移すると予算額の8割程度にしか届かないからです。

財務委員会としては、今までの方式に加えコンビニエンスストアでの支払等の多様な年会費の納入方法を検討していくこととしました。

また、職域・地域知道会における年会費納入の啓蒙や学年別同窓会の開催時における年会費納入のお願いなども必要かも知れません。

今年度の会費が未納の方は、当会報に同封しました郵便払込取扱票をご使用下さい。

知道会の運営が持続されるよう皆様のご協力をお願いします。

名簿委員会

5年ごとに改訂している名簿の

編集が始まっています。発刊は、平成24年度を予定しています。皆様の住所変更などは、迅速に行っておりますので、メール、FAX、ハガキ等で事務局宛ご一報下さい。

クラス会、学年同窓会、地域・職域知道会などにおける会員の情報は貴重です。幹事の皆様には引き続きご協力をお願いいたします。

名簿委員長 打越芳男（昭34卒）

物故者 (H21.9～22.5)

旧職員	堀 勤	昭15	寺門義明	昭23	大津 栄	昭29	稲野辺 亨
昭 8	田口五郎	昭15	大槻秀男	昭23	小崎 忠	昭30	佐藤 隆
昭 8	蛭田憲一郎	昭16	多治見和夫	昭24	安藤康正	昭31	山上 磐
昭 9	荒川千吉	昭17	海老根 功	昭25	藤久真彦	昭31	佐藤美智子
昭 9	石川孝一	昭17	平野重光	昭25	清水邦彦	昭33	中尾泰男
昭10	今川義人	昭18	小野信三	昭25	西村延也	昭34	生天目 晟
昭10	山田栄吉	昭18	塩畑 晃	昭25	須能保美	昭36	長尾正英
昭11	新井富夫	昭19	稲垣 宏	昭25	神尾彰二	昭37	上原俊治
昭11	室伏(石川)真也	昭20	渡辺暉久	昭26	村上義光	昭38	益子 宏
昭11	鈴木友一	昭20	吉田英明	昭26	袖山啓三	昭39	鳥居則男
昭12	高筒 阜	昭21	大部 栄	昭26	安達 弘	昭42	海老原節夫
昭12	三田寺泰男	昭21	亀田州弘	昭26	内田早俊	昭43	幸田和成
昭13	石川邦夫	昭21	仁平有孝	昭27	高瀬比佐雄	昭44	小島建二郎
昭14	雨沢雄一	昭21	矢萩幸男	昭27	木村隆久	昭50	三田部光治
昭14	井上 弘	昭22	橋本文佑	昭27	川上満雄	昭50	丸山朱実
昭14	鈴木 晃	昭22	三浦 寛	昭28	大橋尚	昭50	村田加寿子
昭15	末永國明	昭23	安藤康正	昭29	増子元洋		

【事務局から】

事務局の開設時間帯が限られているため、多くの会員にご不便をお掛けしています。

知道会に関するお問合せは24時間稼働中のFAX又はE-Mailでご連絡下さい。ご連絡頂いてから二日後にはご返信します。ご用件、ご連絡先、卒年をお忘れなく記載

して下さい。

なお、お近くへ来られた際には是非事務局へお立寄り下さい。時折、留守にしていることも御座いますので、出来れば事前にご一報頂きますと好都合です。よろしくお願い致します。